

2026 年 7 月号
令和 8 年 7 月 31 日

漁況情報・浜の話題

神奈川県水産技術センター
企画研究部 046-882-2489
相模湾試験場 0465-23-8531
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/wadai>



浜の話題

【6月】三浦半島西岸各地：密漁監視

6月、三浦半島西岸各地の漁協では、夏の密漁対策について打合せを行いました。各地で海水浴や磯遊び客が多く来訪する7～8月を中心に、密漁監視や来訪客への呼びかけを重点的に実施します。

貝類などの定着性の水産資源は、たとえ1人1個だけ獲ったとしても多くの来訪客が獲れば枯渇してしまいます。漁業者が魚介類を大切に守り育て、生活の糧として営む共同漁業権に基づく漁業に深刻な被害をもたらしますので、ご理解をお願いいたします。



密漁監視のイメージ

【6月～10月】長井：藻場保全

長井町漁協の漁業者は、藻場保全のため、6月から10月にガンガゼの駆除を実施しています。駆除は、素潜りで毎週1回実施しています。

【6月6日】茅ヶ崎：はまぐり祭り

6月6日、茅ヶ崎市漁業協同組合は茅ヶ崎市の協力のもと「茅ヶ崎漁港マルシェはまぐり祭り」を開催しました。当日は540名の方が来場し、茅ヶ崎産はまぐりの直売、お吸い物やキッチンカーによるはまぐりの酒蒸しの販売があり、いずれも好評で完売しました。また、親子20組を対象とした「茅ヶ崎のはまぐりと漁業について」の講演会と、茅ヶ崎市長の御挨拶の後「ハマグリ種苗放流体験」も実施されました。茅ヶ崎市で新たな特産品化を目指している「茅ヶ崎はまぐり」を題材として、「買う、味わう、学ぶ、体験する」4拍子揃って、茅ヶ崎漁港が盛り上がりました。

茅ヶ崎市漁協Instagram

<https://www.instagram.com/p/DT9vpWsgbqH/>



茅ヶ崎漁港マルシェ「はまぐり祭り」



はまぐりと漁業についての講演



種苗放流体験

【6月7日】小坪：船上市場

6月7日、小坪漁協は逗子市観光協会と共催で、小坪漁港において、「船上市場」を開催しました。船上市場は、漁港岸壁に係留した漁船の上で、獲れたての魚介を漁業者が販売するイベントです。アオリイカ、カワハギ、カマスをはじめ様々な魚介類が販売されました。

逗子市観光協会 https://www.zushitrip.com/spot/detail_636.html

【6月9日】長井、佐島：ヒラメ種苗放流

6月9日、長井町漁協と湘南漁協佐島支所は、長井漁港井尻地区及び佐島漁港において、(公財)神奈川県栽培漁業協会及び(一財)横須賀市西部水産振興事業団とともに、ヒラメの種苗をそれぞれ21,000尾及び11,200尾放流しました。

【6月11日】小網代：体験漁業（刺網・籠）

6月11日、日本さかな学校に学ぶ学生さんのうち、漁業への就業を強く希望する方々が、みうら漁協小網代地区で漁業者の指導の下、刺網漁とタコ漁の実習をしました。刺網漁では、漁獲物を網から外したり、網を畳んだりする作業を行いました。タコ漁では、漁獲されたタコの扱い方を教わりました。



ゴミを取りながら漁獲物を外します



モンゴウイカはどうやって外すの？

【6月11日】鎌倉、腰越：ヒラメ種苗放流

6月11日、湘南漁協鎌倉支所及び腰越漁協は、(公財)相模湾水産振興事業団の支援により、ヒラメの種苗をそれぞれ5,000尾及び10,000尾放流しました。放流は、鎌倉で船から、腰越では船と岸壁から行われました。

【6月12日】湘南各地：ハマグリ種苗放流

6月12日、湘南地区の各浜(小坪、鎌倉、腰越、茅ヶ崎、平塚)で、(公財)相模湾水産振興事業団がハマグリ種苗を放流しました。腰越、茅ヶ崎、平塚では、(公社)日本水産資源保護協会

の補助事業分を、茅ヶ崎では、漁協はまぐり部会の放流歩金積立て分を、平塚では漁協出資分を合わせて放流しました。



各浜のハマグリ種苗放流様子(茅ヶ崎)



同(平塚)

【6月15日】城ヶ島：「城ヶ島 Labo」見学会

6月15日、三和漁業協同組合城ヶ島支所の敷地に開設された陸上養殖試験場「城ヶ島Labo」の見学会が催されました。この試験施設は、陸上養殖の技術開発と持続可能な水産業の確立を目指して、同支所と高压ガスサービスを軸に事業展開してきた株式会社巴商会(本社:東京都大田区)が共同で運営するものです。関係者が集まって開かれた見学会では、運営者の挨拶とスギ稚魚の池入れに引き続き、施設の見学と各装置の説明などが行われました。



陸上養殖試験場「城ヶ島 Labo」



支所長の挨拶



スギを池入れ



施設見学

【6月18日】西湘地区：ヒラメ種苗放流

6月18日、大磯二宮漁協、岩漁協、真鶴町漁協は、(公財)相模湾水産振興事業団と合同で36,545尾(大磯二宮13,005尾、岩10,650尾、真鶴町12,890尾)のヒラメ種苗をそれぞれの地先漁場へ放流しました。また、同日に福浦漁協は1,500尾のヒラメ種苗を地先漁場へ放流しました。



放流前のヒラメ種苗



ヒラメの放流

【6月23日】長井：アワビ、トコブシ放流、藻場モニタリング

6月23日、長井町漁協は(一財)横須賀西部水産振興事業団の支援を受けて、アワビ種苗を約4,000個、トコブシ種苗を9,000個放流しました。併せて、同漁協の漁業者は、藻場のモニタリングを行いました。ともに素潜りで行い、特にアワビ、トコブシは放流時の食害を防ぐため、岩の隙間に丁寧に放流しました。



アワビ種苗の放流



モニタリング(1mの方形枠を持って潜水)

【6月23・24日】長井、佐島(芦名)：マダイ稚魚放流体験教室

(一財)横須賀市西部水産振興事業団は、6月23日に長井漁港、24日に芦名漁港において、

長井町漁協、湘南漁協及び(公財)神奈川県栽培漁業協会の協力により、地元小学校が参加するマダイ稚魚放流体験教室を実施しました。



栽培漁業協会による説明(芦名)



小学生による放流(長井)



小学生による放流(芦名)

【6月23日】漁業士会：役員会

6月23日、かながわ県民センターで、漁業士役員会を開催しました。当日は10名の役員が参加し、5月29日に提出した要試験研究課題要望「ワカメ種苗生産について」の報告のあと、今後の取組内容について協議し、漁業士研修会は県水産技術センター研究発表会と共催で10月20日に開催することになりました。また、今年度の新たな企画として、横須賀市東部漁協所属の譲原指導漁業士のマガキ天然採苗とマガキ養殖やワカメ種苗生産の視察調査を8月25日に実施することになりました。



漁業士役員会の様子

【6月23日】定置漁業研究会：総会

6月23日、神奈川県定置漁業研究会は県小田原水産合同庁舎で総会を開催し、計22名の関係者が出席しました。当日は、日東製網株式会社の石戸谷研究室顧問から「神奈川県沿岸の潮流と定置網の挙動」について話題提供いただき、出席者は熱心に耳を傾けていました。



石戸谷氏による話題提供

【6月25日】平塚地区：ヒラメ種苗放流

6月25日、平塚市漁協、(公財)相模湾水産振興事業団、(公財)神奈川県栽培漁業協会は、ヒラメ種苗合計21,210尾を放流しました。当日は地元小学生が、杉山組合長から平塚の海や漁業についての説明を、(公財)神奈川県栽培漁業協会の今井専務理事から放流するヒラメについての説明を聞いて、種苗放流を体験をしました。



ヒラメ種苗放流



ヒラメ種苗放流



組合長からの海や漁業の説明

【6月26日】金沢：ヒラメ種苗放流

6月26日、横浜市漁業協同組合金沢支所は、(公財)神奈川県栽培漁業協会の協力により、資源保護活動の一環として雨模様の中、漁港護岸よりヒラメ5,000尾の種苗放流をしました。大きく育つように願いを込めて、地元の小学生徒123名が放流に参加しました。



ヒラメ種苗



漁港護岸より放流

【6月28日】大磯二宮漁協：総会

6月28日、大磯二宮漁協で総会が開催され、辻井将氏((有)湘南定置)が代表理事組合長に、加藤竜次氏(喜太郎丸)が副組合長に就任されました。

お知らせ

はまぐり、サザエ等を採らないでください

海水浴、磯遊び等で神奈川の海に来られる一般の方々は、はまぐり・アワビ・サザエ等の貝類、イセエビ、タコ、ナマコ等共同漁業権の対象となっている水産動植物を採らないでください。これらを採ると漁業権侵害となる恐れがあります。ほとんどの海域で共同漁業権が設定されており、漁業者は生活の糧として、魚介類を大切に守り育てています。

県水産課

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/kb2/docs/yugyo/isoasobi.html>

【8月1日～10月19日】長井～腰越：アオリイカ禁漁のお願い

長井町漁協、湘南漁協佐島支所・同葉山支所・同鎌倉支所、小坪漁協及び腰越漁協は、すべての釣り人の皆様に対して、8月1日から10月19日まで、同地先におけるアオリイカの釣りの禁漁について、ご理解とご協力をお願いしています。

これらの組合では、アオリイカ漁をこの期間に自主的に禁漁とし、併せて産卵礁の設置等を行い、アオリイカの資源保護に取り組んでいます。

遊漁者・遊漁船の皆様

アオリイカ資源保護

へのご協力をお願いします

実施期間

8月1日～10月19日

近年、地球温暖化による海水温の上昇に弊を発生、アオリイカの産卵に不可欠な、アマモなどの海藻類や、カシメなどの海藻類が消失する、「磯焼け」が全国的な問題となっています。三浦半島近海でのアオリイカ資源が減少傾向にあるため、漁業者では「人工産卵床の設置」「ワニやアイゴなどの食害生物の駆除」などの漁場保全活動を進めています。さらに、三浦半島西岸3市1町の6か所の漁業協同組合・支所が協働し、下記期間を「**アオリイカの自主禁漁期間**」と決めました。

遊漁船・貸しボート・カヤック・SUP・岸から等、**すべての釣り人の皆様**にも、この期間の禁漁へのご理解とご協力をお願い致します。

実施地域

**「長井町漁協」から「腰越漁協」までの「共同漁業権内」
(横須賀市長浜海岸から鎌倉市腰越漁港まで)**



長井町漁業協同組合 / 湘南漁業協同組合佐島支所 / 湘南漁業協同組合葉山支所
湘南漁業協同組合鎌倉支所 / 小坪漁業協同組合 / 腰越漁業協同組合

協力お願いのポスター

【8月25日】漁業士会：県内視察・交流会

神奈川県漁業士会では、県内の漁業士会会員が取り組む先進事例を視察して、その地区の若手漁業者と交流する県内視察・交流会を開催することになりました。今年度は、多くの地区で営まれているカキ養殖について、8月25日(火)に、横須賀市東部漁協の譲原指導漁業士のマガキ天然採苗と養殖、ワカメ種苗生産等について視察することになりました。漁業士会員だけでなく、興味のある漁業者や市町等の水産関係機関の方々も、是非、御参加下さい。

問合せ先 水産技術センター相模湾試験場 普及指導担当 荻野

TEL : 0465-23-8531

神奈川県漁業士会主催

「マガキ天然採苗と養殖」等の県内視察のご案内

神奈川県漁業士会

●企画趣旨

県内の多くの地区で牡蠣養殖が営まれているが、昨年の広島方面の牡蠣養殖不振に伴い種苗需要が高まり、調達が難しくなっている。そこで、養殖牡蠣の天然採苗と養殖手法について、県内の先進地視察を企画しました。

●日時 令和8年8月25日(火)15:30～ ●集合場所 新安浦港 武丸

●内容 マガキ天然採苗と養殖・ワカメ種苗生産・安浦の漁業について

●講師 横須賀市東部漁協 譲原亮指導漁業士(武丸)

●参加者 県内漁業者及び漁協・市町村職員・その他関係者

8月25日15:30に新安浦港にお集まり下さい。駐車スペースが限られているので、公共交通機関か乗合でいらして下さい。

●交流懇談会 視察終了後、18:00～横須賀ビールにて実費で交流懇談会を開催するので、申込みの際に出欠をお知らせ下さい。

***漁業士会員以外の方もぜひご参加下さい。**

問合せ先：普及指導担当 荻野 ☎0465-23-8531

【～10月30日】県：資格取得支援事業

県水産課は、漁業就業・定着化のための資格取得支援事業を実施しています。

漁業に就業して3年以内の方を対象に、様々な資格の取得に係る費用の一部(補助率は1/3以内、補助上限額は5万円/件)を補助します。

活用を希望される方は、就業地域の漁業協同組合を通じて交付申請書類をご提出ください。なお、県での書類確認・交付決定後に、ご自身で資格の講習等にお申込みいただく流れとなりますので、受講予定日から余裕を持って必要書類をご提出いただきますようお願いいたします。

詳細情報 <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/kb2/syugyou/r6shikakusyutoku.html>

問合せ先 環境農政局農水産部水産課 水産企画グループ

TEL : 045-210-4542

漁業就業・定着化のための資格取得支援事業

新人漁師の 資格取得を支援します

対象者：県内の漁業に就業して**3年以内**の方

条件：取得後、**県内で漁業を3年以上継続**すること

※ 3年以上継続できない場合は全額返還となります

補助対象経費

○ 次に挙げる資格の取得に係る費用の一部

①小型船舶操縦士免許（湖川小出力船隻、特設小型船舶操縦士を専く）

②中型自動車運転免許

③フォークリフト運転技能講習受講料

④移動式クレーン運転士

⑤第2・3級海上特殊無線技士

⑥玉掛け技能講習受講料

⑦潜水土

※ 補助率は1/3以内、補助上限額は50,000円/件

※ 予算の範囲内での支援となります

※ 期間中であっても、予算がなくなり次第、事業を終了します。

※ 補助対象経費の詳細は県水産課のホームページを確認ください

交付申請期間

○令和8年5月21日～令和8年10月30日必着

※ 就業地域の漁業協同組合を通じて交付申請書類を提出してください



申請先・問合せ先

神奈川県 環境農政局 農水産部
水産課 水産企画グループ
☎045-210-4542

漁業就業・定着化のための資格取得 検索

